

# 令和7年度岩手県学習定着度状況調査から見える花巻市の状況 ～結果の分析と改善の手立て～(花巻市教育委員会)

令和7年10月1日(水)、小学校5年生(市内653人)、中学校2年生(市内616人)を対象に、小5国語・算数、中2数学・英語の教科調査と小5・45項目、中3・47項目からなる普段の生活や学習に係る児童生徒質問紙調査等が実施され、岩手県教育委員会から結果が公表されました。

## 令和7年度教科調査の結果(小学校5年生、中学校2年生)－県との比較から－

教科調査については、小5国語・算数はおおむね県と同程度となり、「1年間の成長」が過去最大幅の伸びとなった昨年度に続き4～5年前の水準に回復し、中2数学・英語も昨年度に続きおおむね県と同程度となり、昨年度過去最大幅の伸びで平成28年度以来8年ぶりに県を上回った数学に続き改善傾向にあります。

◆ 県の平均正答率との比較 ※正答率は小数点以下を四捨五入して整数値で表示。令和6年度から中学校国語の教科調査がなくなり、英語はIBAを活用した調査から県作成の調査に変更。【単位%】

小学校5年生	国語	算数	中学校2年生	数学	英語
花巻市	62	53	花巻市	44	37
岩手県	63	52	岩手県	45	37

【小学校】 県差 国語－1ポイント、算数＋1ポイント 国語・算数ともおおむね県と同程度

【中学校】 県差 数学－1ポイント、英語±0ポイント 数学・英語ともおおむね県と同程度

◆ 平均正答率の経年比較等 ※参考資料1 (p. 4・5) 参照

【小学校】 国語県差 着実に回復 (過去最高H25・H26＋3ポイント、過去最低R5－3ポイント)

R5－3ポイント(過去最低)⇒R6－2ポイント⇒R7－1ポイント

算数県差 大きく改善 (過去最高H25＋6ポイント、過去最低R5・R6－3ポイント)

R5－3ポイント(過去最低)⇒R6－3ポイント(過去最低)⇒R7＋1ポイント

現小5は、【説明資料1】(p. 2)のとおり、R6小4段階のCRTで大きく改善がみられていましたが、今回の調査でも改善傾向が確認されました。これは、各種学力調査で過去最低を更新してきたR6小6より小4段階までさらに厳しい結果が出ていた現小6をターゲットにして、各学校が花巻市教育委員会と連携して「指導と評価を一体化した習熟に応じた個別最適な学び」等の取組に力を入れた効果が波及したためと推測できます。

【中学校】 数学県差 改善傾向維持 (過去最高H24・H28＋2ポイント、過去最低R5－5ポイント)

R5－5ポイント(過去最低)⇒R6＋1ポイント⇒R7－1ポイント

英語県差 改善傾向 (過去最高H24・H29・R2・R7±0ポイント、過去最低H27－3ポイント)

R5－1ポイント⇒R6－1ポイント⇒R7±0ポイント(過去最高)

現中2は、【説明資料1】(p. 2)のとおり、小学校中学年頃から年々学力低下が進行してきた学年ですが、数学・英語で県と同程度となった今回の調査は、取組の効果が表れた結果です。

【説明資料 1】

各種学力調査の全国・県と比較した教科別学力の推移

国語	小3 CRT 国	小4 県学 国	小4 CRT 国	小5 県学 国	小5 CRT 国	小6 全学 国A	小6 全学 国B	中1 新入 生国	中1 CRT 国	中2 県学 国	中2 CRT 国	中3 全学 国A	中3 全学 国B	高1 新入 生国
前7		99		101	106					100	100	97	95	100
前6		104		101	109	104	105			100	102	101	101	101
前5		103		103	112	103	107	101		103	104	103	101	100
前4		104		104	110	107	108	99		102		101	105	101
前3				99	105	100	103	100	101	100		102		
前2				101	105	103	103	99	101	100				100
前1				100		105	102	98	104			102		
現高3			104	100		107			103	105		103		
現高2	108		103	98				101	102	99		99		
現高1	107		106			97		95	99	98		96		
現中3	105		106	99		101		100	99			99		
現中2	107		104	99		98		96	98					
現中1	100		102	95		97		95						
現小6	98		97	96		97								
現小5	100		105	100										
現小4	105													

算数 数学	小3 CRT 算	小4 県学 算	小4 CRT 算	小5 県学 算	小5 CRT 算	小6 全学 算A	小6 全学 算B	中1 新入 生数	中1 CRT 数	中2 県学 数	中2 CRT 数	中3 全学 数A	中3 全学 数B	高1 新入 生数
前7		101		101	104					97	90	91	85	99
前6		104		106	110	101	100			99	94	95	93	103
前5		104		108	109	102	107	101		103	99	96	98	101
前4		107		105	109	104	98	101		97		95	96	102
前3				102	104	101	99	99	93	94		90		
前2				100	105	102	98	98	94	100				100
前1				103		101	101	100	96			93		
現高3			105	102		101			95	95		93		
現高2	106		103	98				95	95	95		86		
現高1	106		108			94		94	86	90		88		
現中3	104		107	101		97		98	90	102		85		
現中2	107		100	97		94		95	86	96				
現中1	103		99	95		87		94						
現小6	98		93	95		91								
現小5	102		108	103										
現小4	107													

英語	中1 CRT 英	中2 県学 英	中2 CRT 英	中3 全学 英	高1 新入 生英	社会	小5 県学 社	小5 CRT 社	中1 CRT 社	中2 県学 社	中2 CRT 社	理科	小5 県学 理	小5 CRT 理	小6 全学 理	中1 CRT 理	中2 県学 理	中2 CRT 理	中3 全学 理
前7		97	98		100	前7		104		98	98	前7	106	106			102	95	93
前6		94	96		98	前6		101		98	98	前6	103	106			99	96	
前5		99	99		98	前5		101		103	104	前5	105	105			100	101	
前4		100			99	前4	104	102		104		前4	106	107	107		102		100
前3	97	98		89		前3	100	102	98	98		前3	102	102		104	98		
前2	95	98			102	前2	100	100	100	98		前2	100	103		102	100		
前1	103	99				前1	101		104			前1	101		101	96			
現高3	97	98				現高3	101		100			現高3	101			96・107			95
現高2	100	99		77		現高2	100		99			現高2	100			101			
現高1	98	99				現高1			96			現高1				90			
現中3	98	99				現中3			92			現中3			96	91			98
現中2	99	98				現中2			91			現中2				88			
現中1						現中1						現中1							
現小6						現小6						現小6			95				
現小5						現小5						現小5							
現小4						現小4						現小4							

## ◆ 小問ごとの平均正答率の比較

【小学校】 小問数は国語 24 問・算数 23 問

県を上回る小問数は国語 8 問・算数 15 問 県を下回る小問数は国語 15 問・算数 8 問

県を 5 ポイント以上上回る大差の小問数は国語・算数とも 0 問 県を 5 ポイント以上下回る

大差の小問数は国語・算数とも 0 問

特に算数で大きく回復

【中学校】 小問数は数学 23 問・英語 22 問

県を上回る小問数は数学 6 問・英語 7 問 県を下回る小問数は数学 17 問・英語 15 問

県を 5 ポイント以上上回る大差の小問数は数学 0 問・英語 1 問 県を 5 ポイント以上下回

る大差の小問数は数学 4 問・英語 0 問

数学で 5 ポイント以上下回る大差の小問は次の 4 問

### 数学で5ポイント以上下回る大差の小問

2 素因数分解をすることができる。

平均正答率 花巻市 31.0% 岩手県 38.0% 差－7.0ポイント

基本問題で大きな差が出る場合があります。

すべての教科・領域に共通することですが、授業や学習に際しては基礎を確実に定着することが大切です。

9 (2) 事象の中の数量やその関係に着目し、求め方を説明することができる。

平均正答率 花巻市 40.7% 岩手県 46.4% 差－5.7ポイント

説明する問題を苦手にする傾向があります。

普段の授業や学習では、自分の言葉で相手に伝えるように表現する力を身に付けることが大切です。

12 (1) 度数分布表から相対度数を求める式を答えることができる。

平均正答率 花巻市 18.8% 岩手県 25.5% 差－6.7ポイント

(2) 多数回の試行の結果から得られる相対度数の意味を理解している。

平均正答率 花巻市 14.2% 岩手県 19.4% 差－5.2ポイント

「データの活用」は中1数学の最後に扱う単元です。

「数と式」「図形」「関数」と同様に、時間を十分に確保して授業を進めることを意識したいと思います。

I 平均正答率を1年間の学力向上の取組の目標に設定するときの問題点と解決の手立て

平均正答率を目標にして1年間の取組の効果を検証しようとする、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力の差などによって平均正答率が左右され、1年間の取組の効果が捉えにくくなります。また、学力調査は相対評価のNRTや絶対評価のCRTなど標準化作業を経た「標準学力検査」と全国学調、県学調、市販テスト、教師自作テストなどの標準化作業を経ない「非標準学力検査」に大別され、前者が得点率を用いて年度をまたぐ評価を可能にするのに対して、後者は調査問題の難易度が異なるために平均正答率の比較が意味をなさないこともあります。さらに、中学校数学、英語などは全国レベルと県レベルの調査母体の格差が大きく、全国学調と県学調など異なる調査間の比較を難しくすることもあります。つまり、平均正答率を目標に1年間の取組の効果を検証するためには、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差などを踏まえて評価する必要があります。

そこで花巻市では、「令和元年度花巻市学力向上アクションプラン」から児童生徒の意識調査結果を指標に掲げて1年間の取組の効果を検証することにしました。同時に、これまで積み上げてきた学力データと当該集団の直近の学力実績を基にして、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差など平均正答率に及ぼす影響を可能な限り補正し、1年間の学校・教職員の取組や児童生徒の頑張りを評価する手立てを模索し、1年間の学校・教職員の指導効果や児童生徒の成長を看取ることができるようになりました。令和2年度はコロナ禍で全国学調と県学調が中止になり令和3年度全国学調の予測値を算定して期待値（目標値）を設定することができま

II 令和7年度小4～前9義務教育段階のCRT・県学調・全国学調の花巻市と県・全国の平均正答率との差一覧【単位ポイント】

R7 年度 学年	小3 全国 CRT	国 語	算 数	小4 全国 CRT	国 語	算 数	小5 県 学調	国 語	社 会	算 数	理 科	小6 全国 学調	国 語 A	国 語 B	算 数 A	算 数 B	理 科	新 入 生	国 語	数 学	中1 全国 CRT	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語 IBA	中2 県 学調	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	中3 全国 学調	国 語 A	国 語 B	数 学 A	数 学 B	理 科	英 語	
小3	R7			R8			R9					R10							R11																					
小4	R6	+3 改善	+5	R7			R8					R9																												
小5	R5	0 課題	+1	R6	+3 改善	+5	R7	-1 4年ぶりに県と同程度	-	+1	-	R8																												
小6	R4	-2 最低危機	-2	R5	-2 過去最低	-4	R6	-2 過去最低予測覆し改善	-	-3	-	R7	-2 算数R6より改善		-5	-3																								
中1	R3	+1 課題	+2	R4	+1 過去最低	0	R5	-3 過去最低大きく更新	-	-3	-	R6	-2 過去最低大きく更新		-8	-			R7	-3 過去最低	-3	R7																		
中2	R2	+4 課題	+5	R3	+3 課題	0	R4	-1 過去最低危機的	-	-2	-	R5	-1 算数過去最低危機的		-4	-			R6	-3 過去最低	-3	R6	-1 理科過去最低更新危機的	-5	-8	-7	-1	R7	-	-	-1 昨年度に続き概ね県と同程度	-	0							
中3	R1	+3 改善	+3	R2	+4 改善	+4	R3	0 前々学年より国算改善	-	+1	-	R4	0 前学年より改善も課題大		-2	-2			R5	0 やや改善	-1	R5	-1 社会過去最低全体的に課題	-5	-5	-5	-1	R6	-	-	+1 数学8年ぶりに県上回り改善	-	-1							
高1	H30	+5 改善	+5	R1	+4 改善	+5	R2	コロナ 中止	-	コロナ 中止	-	R3	-2 過去最低危機的		-4	-			R4	-3 最低危機	-3	R4	-1 数学・理科過去最低危機的	-3	-8	-6	-1	R5	-1 数学過去最低大きく更新	-	-5	-	-1							
高2	H29	+5 課題	+5	H30	+2 課題	+2	R1	-1 学力・意識とも過去低下	0	-1	0	R2	コロナ中止				-		R3	0 小学校・前学年より改善	-2	R3	+1 小学校・前学年より改善	-1	-3	+1	0	R4	-1 前学年より数学改善	-	-2	-	0							
高3	H28	-	-	H29	+3 前学年より国語改善数理低下	+4	H30	0 前学年並みに安定	+1	+1	0	R1	+4 前学年並みに安定		0	-			R2	コロナ中止		R2	+2 前学年より再び低下	0	-3	-2	-2	R3	+3 前々学年より国語改善数英低下	-	-2	-	-2							
前1	H27	-	-	H28	- 前学年より国語低下算数改善	-	H29	-1 前学年並みに安定	+1	+2	+1	H30	+3 前学年並みに安定		+1	0	+1		R1	-1 前学年までより大きく改善	0	R1	+2 前学年までより大きく改善	+2	-2	-2	+2	R2	コロナ 中止	-	コロナ 中止	-	0							
前2	H26	-	-	H27	- 前学年よりさらに算数低下	-	H28	+1 前年度・前学年より改善	0	0	+1	H29	+2 前年度・前学年より改善		+1	+1	-1	-	H30	0 数学・英語大きな課題	-2	H30	+1 数学・英語大きな課題	0	-4	+1	-3	R1	0 前年度・前学年より大きく改善	-1	-1	0	-1							
前3	H25	-	-	H26	- 前学年までより大きく低下	-	H27	+1 前学年までより大きく低下	0	+2	+1	H28	0 前学年までより大きく低下		+1	0	-		H29	0 数学・英語大きな課題	+1	H29	+1 数学・英語大きな課題	-1	-4	+3	-2	H30	0 前年度までより大きく低下	-2	-3	-1	-2							
前4	H24	-	-	H25	-	-	H26	+3	+3	+4	+4	H27	+5	+5	+3	-1	+5		H28	+1	0	H28	-	-	-	-	-	H29	+1	+1	-1	+1	0							
前5	H23	-	-	H24	-	-	H25	+3	-	+6	+4	H26	+3	+4	+2	+4	-		H27	+1	0	H27	-	-	-	-	-	H28	+1	+1	+2	0	-2							
前6	H22	-	-	H23	-	-	H24	+1	-	+4	+3	H25	+2	+3	+1	+1	-		H26	-	-	H26	-	-	-	-	-	H27	0	-1	0	0	-3							
前7	H21	-	-	H22	-	-	H23	+1	-	+1		H24	抽 出	抽 出	校 集	校 集	計		H25	-	-	H25	-	-	-	-	-	H26	0	-1	-2	+1	-2							
前8	H20	-	-	H21	-	-	H22	0	-	+3	-	H23	震 災	震 災	未 実	未 実	施 施		H24	-	-	H24	-	-	-	-	-	H25	+1	+2	0	+1	-2							
前9	H19	-	-	H20	-	-	H21	+1	-	+2	-	H22	抽 出	抽 出	校 集	校 集	計		H23	-	-	H23	-	-	-	-	-	H24	+2	+1	+2	+2	0							

Ⅲ 令和7年度全国学調の予測値と期待値（目標値）の算定

1 6年度小6全国学調					国語	社会	算数	理科	2 6年度中3全国学調					国語	社会	数学	理科	英語
ア	前5～中1・9個学年の小5県学調県差の平均実績値				+0.7	+1.0	+1.9	+2.0	ア	前8～高1・9個学年の中2県学調県差の平均実績値（英語混）				+0.7	0	-0.7	-0.6	-1.4
イ	前5～中1・9個学年の小6全国学調全国差の平均実績値				+1.1	-	+0.1	+1.3	イ	前8～高1・9個学年の中3全国学調全国差の平均実績値				+0.6	-	-4.1	-2.0	-8.5
ウ	全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值）	イーア			+0.4	-	-1.8	-0.7	ウ	全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值）	イーア			-0.1	-	-3.4	-2.6	-7.1
エ	小6の小5県学調県差の実績値				-3.0	-	-3.0	-	エ	中3の中2県学調県差の実績値（英語IBA）				-1.0	-	-5.0	-	-1.0
オ	小6全国学調全国差の予測値	エ+ウ			-2.6	-	-4.8	-	オ	中3全国学調全国差の予測値	エ+ウ			-1.1	-	-8.4	-	-8.1
カ	学力向上取組による加算				+1.0	-	+1.0	-	カ	学力向上取組による加算				+1.0	-	+1.5	-	+1.5
キ	小6全国学調全国差の期待値（目標値）	オ+カ			+1.6	-	-3.8	-	キ	中3全国学調全国差の期待値（目標値）	オ+カ			-0.1	-	-6.9	-	-6.6
3	全国学調の予測値と実績値から算定した小6・中3段階の1年間の成長								※ 予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。									

令和 7年度 の学年	小学校6年						令和 7年度 の学年	中学校3年								
	国語			算数				国語			数学			英語		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長		予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
小6	-0.8	-1.8	-1.0	-5.4	-5.0	+0.4	中3	-	-0.3	-	-2.3	-5.3	-3.0	-8.5	-	-
中1	-2.6	-1.7	+0.9	-4.8	-8.4	-3.6	高1	-1.1	-2.1	-1.0	-8.4	-6.5	+1.9	-8.1	-	-
中2	+0.4	-1.2	-1.6	-4.1	-3.5	+0.6	高2	-1.2	-0.8	+0.4	-5.3	-7.0	-1.7	-4.4	-10.6	-6.6
中3	+1.2	+0.4	-0.8	-1.4	-2.2	-0.8	高3	+2.9	+2.0	-0.9	-5.5	-3.4	+2.1	-4.5	未実施	-
高1	算定不能	-1.7	-	算定不能	-4.2	-	前1	算定不能	+1.4	-	算定不能	-4.2	-	-5.5	未実施	-
高2	+0.5	データ無	-	-2.9	データ無	-	前2	+0.1	データ無	-	-3.7	データ無	-	-5.4	未実施	-
高3	+1.6	+4.2	+2.6	-1.5	+0.4	+1.9	前3	-0.6	+1.2	+1.8	-6.3	-5.6	+0.7	-6.3	-6.0	+0.3
前1	+1.4	+2.3	+0.9	+2.8	+0.5	-2.3	前4	+0.6	+1.9	+1.3	-5.3	-2.5	+2.8	-	未実施	-
前2	+2.1	+1.9	-0.2	-2.7	+0.3	+3.0	前5	+1.4	+1.7	+0.3	-2.0	-1.9	+0.1	-	未実施	-
前3	+0.9	+0.8	-0.1	-0.8	+0.1	+0.9	前6	-0.2	+0.6	+0.8	-3.9	-3.0	+0.9	-	未実施	-
前4	+4.3	+5.1	+0.8	+1.4	+0.9	-0.5	前7	-0.5	-2.9	-2.4	-5.0	-6.0	-1.0	-	未実施	-
前5	+4.3	+3.1	-1.2	+3.0	+2.9	-0.1	前8	+0.1	+0.1	0	-3.5	-3.9	-0.4	-	未実施	-
前6	+2.6	+2.5	-0.1	+1.5	+0.7	-0.8	前9	+1.3	+1.7	+0.4	-1.1	-3.7	-2.6	-	未実施	-

【本資料の活用方法】 ここ10年余り、花巻市の全国学調や県学調の正答率は下がり続けています。教職員や児童生徒が1年間頑張っても、正答率が下がり続ける流れの中、教職員や児童生徒は成果を実感できずモチベーションは低下する一方です。そこで、本資料を活用して1年間の成長の度合いを評価し、教職員や児童生徒のやりがいや意欲を前向きに評価してみたいかがでしょうか。

「Ⅲ 2 エ」の囲み数字は花巻市のデータですが、ここに各学校のデータを入れ替え算定していただければ、各学校の予測値、期待値（目標値）、1年間の成長を求めることができます。

Ⅳ 令和7年度県学調の予測値と期待値（目標値）の算定

1 6年度小5県学調					国語	社会	算数	理科	2 6年度中2県学調期					国語	社会	数学	理科	英語
ア	高2～小6・5個学年の小4CRT全国差の平均実績値				+2.6	-	+2.0	-	ア	前2～中3・5個学年の中1CRT全国差の平均実績値（英語CanDo）				+0.8	-1.0	-4.4	+0.7	-1.6
イ	高2～小6・5個学年の小5県学調県差の平均実績値				-1.0	+0.5	-0.8	0	イ	前2～中3・5個学年の中2県学調県差の実績値（英語IBA）				+0.2	-1.5	-2.6	-0.5	-1.2
ウ	県学調とCRTの平均実績値の差（補正值）	イーア			-3.6	-	-2.8	-	ウ	県学調とCRTの平均実績値の差（補正值）	イーア			-0.6	-0.5	+1.8	-1.2	+0.2
エ	小5の小4CRT全国差の実績値				-1.9	-	-4.4	-	エ	中2の中1CRT全国差の実績値（英語CanDo）				-0.6	-4.7	-5.2	-5.0	-1.1
オ	小5県学調県差の予測値	エ+ウ			-5.5	-	-7.2	-	オ	中2県学調県差の予測値（英語IBA）	エ+ウ			-1.2	-5.2	-3.4	-6.2	-0.9
カ	学力向上取組による加算（低過ぎ？高過ぎ？）				+1.0	-	+1.0	-	カ	学力向上取組による加算（低過ぎ？高過ぎ？）				+1.0	+1.0	+1.5	+1.0	+1.5
キ	小5県学調県差の期待値	オ+カ			-4.5	-	-6.2	-	キ	中2県学調県差の期待値（英語IBA）	オ+カ			-0.2	-4.2	-1.9	-5.2	+0.6
3	県学調の予測値と実績値から算定した小5・中2段階の1年間の成長								※ 予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。									

令和 7年度 の学年	小学校5年						令和 7年度 の学年	中学校2年														
	国語			算数				国語			社会			数学			理科			英語 IBA		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長		予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
小5	+0.1	-0.3	-0.4	+2.4	+1.5	-0.9	中2	-1.9	—	—	-5.7	—	—	-5.4	-1.6	+3.8	-9.6	—	—	-0.3	-0.7	-0.4
小6	-5.5	-2.1	+3.4	-7.2	-2.5	+4.7	中3	-1.2	—	—	-5.2	—	—	-3.4	+0.7	+4.1	-6.2	—	—	-0.9	-0.5	+0.4
中1	-3.2	-3.4	-0.2	-3.5	-2.8	+0.7	高1	-1.3	-1.0	+0.3	-3.6	—	—	-6.2	-4.3	+1.9	-6.8	—	—	-1.1	-0.4	+0.7
中2	+0.3	-0.8	-1.1	-3.0	-1.8	+1.2	高2	+1.0	-0.6	-1.6	-1.7	—	—	-1.0	-2.1	-1.1	-0.1	—	—	+1.1	-0.7	-1.8
中3	+1.0	-0.5	-2.5	+1.5	+0.5	-1.0	高3	+1.4	+3.0	+1.6	-0.6	未実施	—	-1.6	-2.0	-0.4	-4.4	未実施	—	-1.0	-1.1	-0.1
高1	+1.1	データ無	—	+2.3	データ無	—	前1	+2.0	データ無	—	+1.5	データ無	—	-0.6	データ無	—	-4.4	データ無	—	+2.8	-1.0	-3.8
高2	-1.1	+1.1	+2.2	-0.9	-0.9	0	前2	+0.5	+0.4	-0.1	+0.4	-1.0	-1.4	-2.4	-1.2	+1.2	-2.5	+0.5	+3.0	-2.6	-1.0	+1.6
高3	-0.2	-0.2	0	+1.0	+1.0	0	前3	+0.2	+0.2	0	-1.4	-1.4	0	-2.8	-2.8	0	-0.9	-0.9	0	-1.7	-1.7	0

注 英語に係る補足説明

R5 までは英語の中1CRTは Can Do(県比)、中2県学調は英検 IBA(県比)。R6 からは中1県学調は英検 IBA(県比)、中2県学調は県作成問題。なお、英検 IBA は「書くこと」等がないので、Can Do の出題領域とは異なる。

# 令和7年度 児童生徒質問紙調査の結果(小学校5年生、中学校2年生)-県との比較から-

児童生徒質問紙調査については、令和5年度まで小学校を中心に年々課題が顕在化していましたが、令和6年度は改善傾向に転じました。今回は令和6年度の改善傾向が維持されているのか注視していましたが、中2では令和6年度に比べて望ましい回答傾向が減少したものの、参考資料2(p. 11)に掲げる12の指標項目に限れば、小学校は11項目(92%)、中学校は7項目(58%)で肯定的回答が県を上回り、力を入れてきた小学校を中心に「花巻市学力向上アクションプラン」の取組の効果が表れています。

花巻市小5・中2変容状況		肯定的回答が県を上回る質問項目の数(割合)	肯定的回答が県と同等の質問項目数(割合)	肯定的回答が県を下回る質問項目の数(割合)
小学校5年生	令和7年度	22(50%)	8(18%)	14(32%)
	↑	↑増	↑減	↑増
	令和6年度	24(49%)	13(27%)	12(24%)
中学校2年生	↑	↑増	↑増	↑減
	令和5年度	6(12%)	6(12%)	37(76%)
	令和7年度	18(39%)	2(4%)	26(57%)
中学校2年生	↑	↑減	↑減	↑増
	令和6年度	38(76%)	6(12%)	6(12%)
	↑	↑増	↑減	↑減
	令和5年度	13(26%)	14(28%)	23(46%)

## ◆「花巻市学力向上アクションプラン」3観点からの考察※参考資料2(p. 11)参照

「花巻市学力向上アクションプラン」の具体的な取組としては、「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」「児童生徒の実態に即した授業改善の推進」「児童生徒の家庭生活・家庭学習の充実」を三本柱として、平成30年度から「中1 悉皆学習・生活改善講話」「数学・英語Gアップシート」「生徒個別学習相談・指導」等中学校段階の取組を始め、令和3年度からは「学校訪問指導」「児童希望学習・生活改善講話」「保護者等希望子育て・教育講演」「教員個別・全体研」等を加えて課題が顕在化していた小学校段階の取組に広げました。令和6年度は「特に課題が大きい小5学習・生活講話」「実態周知等悉皆PTA役員会説明・保護者講演」「授業改善校内研」等、小学校段階の取組に力を注ぎました。ここでは、「令和7年度花巻市学力向上アクションプラン」の取組について、指標項目の変容を中心に検証します。

## 観点1「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」に係る内容

指標項目は、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「自分にはよいところがあると思いますか」「先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「授業や学級活動などの話し合いで、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか」の5つで、調査結果は次のとおりです。

### 1 学校に行くのは楽しいと思いますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
思う	50.0	49.0	52.0	51.0
どちらかといえば↑	36.0	36.0	37.0	37.0
どちらかといえば↓	11.0	10.0	9.0	9.0
思わない	4.0	4.0	2.0	3.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
86.0	85.0	89.0	88.0
1.0		1.0	
15.0	14.0	11.0	12.0
1.0		-1.0	

指標1-1			
6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
87.0	90.0	86.0	89.0

### 2 自分にはよいところがあると思いますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
思う	33.0	31.0	30.0	33.0
どちらかといえば↑	45.0	44.0	47.0	46.0
どちらかといえば↓	16.0	17.0	16.0	15.0
思わない	7.0	8.0	7.0	6.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
78.0	75.0	77.0	79.0
3.0		-2.0	
23.0	25.0	23.0	21.0
-2.0		2.0	

指標1-2			
6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
77.0	82.0	78.0	77.0

### 小13中14 先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
思う	41.0	41.0	41.0	42.0
どちらかといえば↑	44.0	43.0	47.0	47.0
どちらかといえば↓	10.0	12.0	9.0	8.0
思わない	5.0	5.0	2.0	3.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
85.0	84.0	88.0	89.0
1.0		-1.0	
15.0	17.0	11.0	11.0
-2.0		0.0	

指標1-3			
6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
84.0	90.0	85.0	88.0

小17中18 授業や学級活動などの話し合いで、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか(R5～)

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
思う	32.0	29.0	32.0	31.0
どちらかといえば↑	46.0	44.0	47.0	45.0
どちらかといえば↓	16.0	19.0	16.0	19.0
思わない	7.0	7.0	5.0	6.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
78.0	73.0	79.0	76.0
5.0		3.0	
23.0	26.0	21.0	25.0
-3.0		-4.0	

指標1-4			
6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
76.0	80.0	78.0	79.0

5年度から新しい質問項目

小20中21 学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
ある	48.0	45.0	50.0	45.0
どちらかといえば↑	39.0	40.0	39.0	43.0
どちらかといえば↓	9.0	11.0	8.0	10.0
ない	5.0	4.0	2.0	3.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
87.0	85.0	89.0	88.0
2.0		1.0	
14.0	15.0	10.0	13.0
-1.0		-3.0	

指標1-5			
6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
84.0	87.0	87.0	89.0

元年度から新しい質問項目

## ① 市の目標達成の状況

小5は3項目で上回り、1項目で同等、1項目で下回りました。中2は5項目すべてで上回りました。

## ② 前年度実績値からの変容

小5は4項目で上回り、1項目で下回りました。中2は1項目で上回り、4項目で下回りました。

## ③ 県の実績値との比較

小5は5項目すべてで上回りました。中2は3項目で上回り、2項目で下回りました。

令和6年度は小5・中2ともに県を下回り課題だった「学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか」の肯定的回答は、小5・中2ともに県を上回り改善されました。心理的安全性の高い教室の雰囲気は、望ましい方向です。

生徒指導と教科指導は両輪の関係と言われ、互いに密接な関係を保ちつつ相互に補完し合うことはよく知られています。そこで、「教科指導の充実」を図り「学力向上」で成果を上げるためには、「生徒指導の安定」が土台で「心理的安全性の高い教室の雰囲気を確保」することが重要です。観点1に関係する他の児童生徒質問紙調査項目の結果を見ても望ましい状況が伺え、「令和7年度花巻市学力向上アクションプラン」の「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」に関する児童生徒質問紙調査項目の調査結果については、総じて望ましい状況に向かっていると思われます。

小16中17 児童・生徒会活動や学級活動などで、学級生活をよりよくするために話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
決めている	38.0	37.0	41.0	39.0
どちらかといえば↑	49.0	49.0	49.0	50.0
どちらかといえば↓	9.0	11.0	8.0	9.0
決めていない	4.0	3.0	2.0	2.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
87.0	86.0	90.0	89.0
1.0		1.0	
13.0	14.0	10.0	11.0
-1.0		-1.0	

## 観点2 「児童生徒の実態に即した授業改善の推進」に係る内容

指標項目は、県の調査項目の変更により、昨年度までの「授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」を「授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか」に修正し、「授業の中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったかが分かったと感じていますか」を「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」に置き換え、昨年度までの「授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか」「先生は、あなたが授業やテストで分からなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください」と合わせた4つで、調査結果は次のとおりです。

小24中25 授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか(R7修正)

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
思う	45.0	41.0	47.0	45.0
どちらかといえば↑	39.0	42.0	39.0	44.0
どちらかといえば↓	11.0	12.0	11.0	9.0
思わない	5.0	4.0	3.0	3.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
84.0	83.0	86.0	89.0
1.0		-3.0	
16.0	16.0	14.0	12.0
0.0		2.0	

指標2-1			
6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
82.0	86.0	84.0	86.0

30年度の質問項目がなくなり、元年度から新しい質問項目

小18中19 授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
思う	36.0	32.0	32.0	32.0
どちらかといえば↑	44.0	47.0	49.0	48.0
どちらかといえば↓	16.0	16.0	15.0	16.0
思わない	4.0	5.0	4.0	4.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
80.0	79.0	81.0	80.0
1.0		1.0	
20.0	21.0	19.0	20.0
-1.0		-1.0	

指標2-2			
6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
78.0	83.0	80.0	81.0

30年度の質問項目がなくなり、元年度から新しい質問項目

小19中20 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか(R7新規)

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
できている	41.0	36.0	33.0	32.0
どちらかといえば↑	44.0	46.0	45.0	45.0
どちらかといえば↓	12.0	14.0	18.0	19.0
できていない	3.0	4.0	4.0	5.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
85.0	82.0	78.0	77.0
3.0		1.0	
15.0	18.0	22.0	24.0
-3.0		-2.0	

指標2-3			
6年度実績		6年度実績	
小5	中2	小5	中2
87.0	88.0	85.0	78.0

30年度の質問項目がなくなり、元年度から新しい質問項目

小21中22 先生は、授業やテストで分からなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
教えてくれる	59.0	59.0	51.0	48.0
どちらかといえば↑	33.0	31.0	40.0	41.0
どちらかといえば↓	6.0	7.0	7.0	8.0
教えてくれない	2.0	3.0	2.0	3.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
92.0	90.0	91.0	89.0
2.0		2.0	
8.0	10.0	9.0	11.0
-2.0		-2.0	

指標2-4			
6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
91.0	89.0	92.0	91.0

元年度から新しい質問項目

# ① 市の目標達成の状況

小5は2項目で上回り、2項目で下回りました。中2は1項目で上回り、1項目で同等、2項目で下回りました。

# ② 前年度実績値からの変容

小5は3項目で上回り、1項目で下回りました。中2は1項目で上回り、1項目で同等、2項目で下回りました。

# ③ 県の実績値との比較

小5は4項目すべてで上回りました。中2は3項目で上回り、1項目で下回りました。

小5・中2ともに県との比較では望ましい傾向ですが、中2「授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか」は唯一県を下回り課題です。「協働的な学び」を活性化の手立てが必要です。

全国学力・学習状況調査や岩手県学習定着度状況調査の教科調査は国語、算数・数学が中心になっているため、小・中学校の社会、理科、外国語活動・英語に係る情報は限られています。当市では中学校1年生の段階で国語、数学以外の教科に係るC R T等の学力調査も実施していますが、【説明資料1】(p. 2)のとおり、国語、数学以外の教科でも年々課題が顕在化してきています。観点2に関係する他の児童生徒質問紙調査項目の結果を見ると、「教科の学習の好き・嫌い」「教科の内容が分かる・分からない」の結果は、小学校外国語活動や中学校社会・理科で課題が顕著です。特に義務教育段階では、すべての教科をバランスよく学ぶことにより児童生徒の全人的な成長・発達が促されることから、私たちは毎日行われているすべての教科の授業を充実していくことを大切にしなければなりません。

小26中27 国語の勉強は好きですか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
好き	27.0	26.0	29.0	27.0
どちらかといえば↑	38.0	39.0	44.0	43.0
どちらかといえば↓	22.0	22.0	20.0	21.0
好きではない	13.0	13.0	7.0	8.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
65.0	65.0	73.0	70.0
0.0		3.0	
35.0	35.0	27.0	29.0
0.0		-2.0	

小27中28 国語の授業の内容はよく分かりますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
よく分かる	39.0	41.0	42.0	35.0
どちらかといえば↑	47.0	46.0	49.0	53.0
どちらかといえば↓	9.0	9.0	8.0	10.0
分からない	5.0	3.0	1.0	2.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
86.0	87.0	91.0	88.0
-1.0		3.0	
14.0	12.0	9.0	12.0
2.0		-3.0	

31 算数・数学の勉強は好きですか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
好き	33.0	34.0	24.0	28.0
どちらかといえば↑	26.0	27.0	30.0	28.0
どちらかといえば↓	23.0	20.0	30.0	25.0
好きではない	17.0	19.0	17.0	19.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
59.0	61.0	54.0	56.0
-2.0		-2.0	
40.0	39.0	47.0	44.0
1.0		3.0	

32 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
よく分かる	40.0	42.0	33.0	32.0
どちらかといえば↑	42.0	40.0	40.0	37.0
どちらかといえば↓	12.0	13.0	20.0	21.0
分からない	6.0	5.0	7.0	10.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
82.0	82.0	73.0	69.0
0.0		4.0	
18.0	18.0	27.0	31.0
0.0		-4.0	

35 社会の勉強は好きですか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
好き	30.0	34.0	35.0	42.0
どちらかといえば↑	35.0	33.0	36.0	36.0
どちらかといえば↓	22.0	20.0	22.0	16.0
好きではない	13.0	13.0	7.0	6.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
65.0	67.0	71.0	78.0
-2.0		-7.0	
35.0	33.0	29.0	22.0
2.0		7.0	

36 社会の授業の内容はよく分かりますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
よく分かる	44.0	49.0	42.0	41.0
どちらかといえば↑	41.0	39.0	41.0	43.0
どちらかといえば↓	10.0	9.0	14.0	13.0
分からない	4.0	3.0	3.0	3.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
85.0	88.0	83.0	84.0
-3.0		-1.0	
14.0	12.0	17.0	16.0
2.0		1.0	

39 理科の勉強は好きですか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
好き	52.0	50.0	32.0	37.0
どちらかといえば↑	30.0	30.0	40.0	38.0
どちらかといえば↓	12.0	12.0	20.0	18.0
好きではない	6.0	8.0	7.0	7.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
82.0	80.0	72.0	75.0
2.0		-3.0	
18.0	20.0	27.0	25.0
-2.0		2.0	

40 理科の授業の内容はよく分かりますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
よく分かる	60.0	57.0	30.0	33.0
どちらかといえば↑	34.0	34.0	41.0	44.0
どちらかといえば↓	4.0	7.0	22.0	17.0
分からない	2.0	3.0	7.0	5.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
94.0	91.0	71.0	77.0
3.0		-6.0	
6.0	10.0	29.0	22.0
-4.0		7.0	

43 外国語・英語の勉強は好きですか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
好き	31.0	43.0	24.0	25.0
どちらかといえば↑	32.0	30.0	30.0	31.0
どちらかといえば↓	22.0	15.0	27.0	27.0
好きではない	15.0	12.0	19.0	17.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
63.0	73.0	54.0	56.0
-10.0		-2.0	
37.0	27.0	46.0	44.0
10.0		2.0	

44 外国語・英語の授業の内容はよく分かりますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
よく分かる	37.0	44.0	26.0	27.0
どちらかといえば↑	35.0	34.0	38.0	40.0
どちらかといえば↓	19.0	14.0	24.0	22.0
分からない	10.0	7.0	11.0	11.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
72.0	78.0	64.0	67.0
-6.0		-3.0	
29.0	21.0	35.0	33.0
8.0		2.0	

### 観点3 「児童生徒の家庭生活・家庭学習の充実」に係る内容

指標項目は、昨年度までの「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」「学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか」が県の調査項目から削除されたため、「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか」「授業で分からなかったところや、理解していないところについて、自分で調べたり、先生や友達に聞いたりして、解決していますか」にそれぞれ置き換え、昨年度までの「学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか」と合わせた3つで、調査結果は次のとおりです。

4 学校の授業以外で、平日、1日当たりどのくらいの時間、勉強しますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
3時間以上	5.0	6.0	2.0	3.0
2時間以上3時間未満	11.0	13.0	10.0	12.0
1時間以上2時間未満	45.0	42.0	36.0	37.0
30分以上1時間未満	30.0	29.0	34.0	30.0
30分未満	7.0	8.0	14.0	14.0
まったくしない	2.0	2.0	4.0	5.0

県比			
	県比		県比
	-1.0		-1.0
	-2.0		-2.0
	3.0		-1.0
	1.0		4.0
	-1.0		0.0
	0.0		-1.0

#### 指標3-1

6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
62.0	19.0	61.0	12.0

小学校は「1時間以上の家庭学習」、中学校は「2時間以上の家庭学習」。

5 学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
取り組んでいる	26.0	26.0	11.0	16.0
どちらかといえば↑	34.0	30.0	31.0	32.0
どちらかといえば↓	22.0	23.0	33.0	31.0
取り組んでいない	18.0	21.0	25.0	21.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
60.0	56.0	42.0	48.0
4.0		-6.0	
40.0	44.0	58.0	52.0
-4.0		6.0	

#### 指標3-2

6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
		60.0	42.0

7年度の質問項目がなくなり、7年度から新しい質問項目に改訂

小23中24 あなたは、授業で分からなかったところや、理解していないところについて、自分で調べたり、先生や友達に聞いたりして、解決していますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
している	47.0	44.0	45.0	44.0
どちらかといえば↑	36.0	38.0	41.0	41.0
どちらかといえば↓	11.0	12.0	11.0	11.0
していない	5.0	5.0	3.0	4.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
83.0	82.0	86.0	85.0
1.0		1.0	
16.0	17.0	14.0	15.0
-1.0		-1.0	

指標3-3			
6年度実績		7年度実績	
小5	中2	小5	中2
		83.0	86.0

7年度の質問項目がなくなり、7年度から新しい質問項目に改訂

### ① 市の目標達成の状況

小5は2項目で上回り、1項目で下回りました。中2は1項目で上回り、2項目で下回りました。

### ② 前年度実績値からの変容

小5、中2ともに1項目で上回り、2項目で下回りました。

### ③ 県の実績値との比較

小5は2項目で上回り、1項目で同等でした。中2は1項目で上回り、2項目で下回りました。

中2「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか」は県を大きく下回り課題です。効果的な家庭学習の進め方やメディアとの関わり方を含めた家庭学習時間の確保など、改めて家庭と連携して対策を講じる必要があります。

観点3に関係する他の児童生徒質問紙調査項目の結果を見ると、**今年度の小5・中2は、スポーツ・文化活動、学習塾等の習い事やテレビ、スマートフォン等のメディアと関わる時間が県より多く、読書や家庭学習の時間が県より少ない傾向**があります。一般的に、学力上位の子どもの家庭では、「テレビ・ゲーム時間のルールなど規則的な生活習慣がある」「自制心、意欲、忍耐力などの非認知スキルを高める働きかけを行っている」「読み聞かせ、読書や新聞、外国語や外国文化などにより知的好奇心を刺激している」「予習や復習など毎日の家庭学習習慣を身に付けさせている」「そしてこれらの前提として子どもとの会話が深い」傾向があるとされます。**効果的な家庭学習の進め方やメディアとの関わり方を含めた家庭学習時間の確保などについて、改めて家庭と連携して対策を講じる必要**があります。

### 6 平日(月曜日から金曜日)に行う習い事の活動回数は、どれくらいですか(R7新規)

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
週5回以上	17.0	11.0	15.0	13.0
週3～4回	27.0	26.0	26.0	22.0
週1～2回	35.0	36.0	21.0	27.0
週0回	22.0	27.0	38.0	38.0

肯定(上段)・否定(下段)的回答			
花巻市	県	花巻市	県
44.0	37.0	41.0	35.0
7.0		6.0	
57.0	63.0	59.0	65.0
-6.0		-6.0	

### 8 平日、学習以外で1日当たりどのくらいの時間、テレビやスマートフォン・PC・タブレットなどを使って、動画視聴・SNS・ゲームなどに利用しますか(R7修正)

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
4時間以上	20.0	19.0	20.0	18.0
3時間以上4時間未満	18.0	17.0	21.0	21.0
2時間以上3時間未満	25.0	25.0	33.0	32.0
1時間以上2時間未満	25.0	25.0	21.0	22.0
1時間未満	11.0	11.0	4.0	6.0
まったくしない	2.0	2.0	1.0	1.0

県比			
	県比		県比
	1.0		2.0
	1.0		0.0
	0.0		1.0
	0.0		-1.0
	0.0		-2.0
	0.0		0.0

### 7 平日(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか

	小5		中2	
	花巻市	県	花巻市	県
2時間以上	4.0	5.0	2.0	3.0
1時間以上2時間未満	11.0	9.0	4.0	7.0
30分以上1時間未満	20.0	21.0	11.0	13.0
10分以上30分未満	28.0	29.0	24.0	29.0
10分未満	18.0	19.0	18.0	16.0
まったくしない	19.0	18.0	41.0	32.0

県比			
	県比		県比
	-1.0		-1.0
	2.0		-3.0
	-1.0		-2.0
	-1.0		-5.0
	-1.0		2.0
	1.0		9.0

※ 「＜成果指標2＞令和8年度目標値設定資料（平成30年度策定、令和元設定、令和5・7年度改訂）です。県実績値の最高値を市目標値にしています。ただし、指標項目が改訂された場合はその県実績値を市目標値に変更します。  
【単位％】

学力 向上策	指標項目（県学調 児童生徒質問紙 肯定回答）		学 年	対 象	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 目標	学 年	対 象	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 目標
学級・ 学年経 営の充 実	1	学校に行くのは楽しいと思いますか	小 5	市 県	90 88	83 85	87 87	88 87	81 85	84 85	87 86	86 85	88	中 2	市 県	88 88	86 86	87 86	81 84	85 85	84 86	90 86	89 88	88
	2	自分にはよいところがあると思いますか	小 5	市 県	78 78	69 76	73 74	76 73	68 73	71 72	77 76	78 75	78	中 2	市 県	71 74	70 71	72 72	71 71	74 72	76 76	82 80	77 79	80
	13 14	先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小 5	市 県	78 80	75 79	78 80	80 80	80 81	81 81	84 83	85 84	84	中 2	市 県	82 82	79 82	83 83	80 82	83 84	86 86	90 87	88 89	89
	17 18	R1～学級は、お互いに助け合ったりお互いのよさを認め合ったりできている学級だと思いますか R5～授業や学級活動の話し合いで、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小 5	市 県		77 83	82 86	89 89	83 87	改訂 73 73	76 74	78 73	74	中 2	市 県		85 84	88 87	86 88	89 88	改訂 73 76	80 76	79 76	76
	20 21	R1～学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか	小 5	市 県		81 83	84 86	87 86	84 85	86 85	84 85	87 85	86	中 2	市 県		86 86	88 88	87 88	88 88	88 88	87 88	89 88	88
学習者 主体の 授業改 善	24 25	R1～授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか R7～授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか	小 5	市 県		82 83	81 82	82 82	84 82	81 80	82 81	改訂 84 83	改訂 83	中 2	市 県		84 87	86 87	83 85	86 87	85 86	86 85	改訂 86 89	改訂 85 ※
	18 19	R1～授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか	小 5	市 県		79 82	80 82	86 83	84 82	76 78	78 78	80 79	83	中 2	市 県		73 78	84 83	83 82	82 82	80 80	83 80	81 80	83
	19 20	R1～授業の中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったか分かったと感じていますか R7～学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小 5	市 県		90 91	90 90	92 90	88 88	84 87	87 87	改訂 85 82	改訂 82	中 2	市 県		83 86	87 88	88 88	87 87	86 86	88 87	改訂 78 77	改訂 77
	21 22	R1～先生は、あなたが授業やテストでわからなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	小 5	市 県		86 91	91 92	93 93	92 92	90 90	91 89	92 90	93	中 2	市 県		84 86	91 90	88 91	91 91	89 90	89 89	91 89	91
家庭学 習の抜 本的改 善	4	学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか（小5・6年→1時間以上、中→2時間以上、勉強している）	小 5	市 県	74 71	71 69	73 73	76 69	69 67	57 63	62 62	61 61	73	中 2	市 県	20 22	18 21	20 25	16 20	19 20	17 18	19 17	12 15	25
	5	家で、自分で計画を立てて勉強していますか R7～学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか	小 5	市 県	67 66	67 68	70 70	72 69	69 69	63 66	66 65	改訂 60 56	改訂 56	中 2	市 県	45 47	49 51	52 54	53 52	52 52	50 50	58 49	改訂 42 48	改訂 48
	23 24	R1～学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか R7～授業で分からなかったところや理解していないところについて、自分で調べたり、先生や友達に聞いたりして、解決していますか	小 5	市 県		61 65	61 67	68 67	64 68	64 65	64 65	改訂 83 82	改訂 82	中 2	市 県		51 53	58 59	57 58	61 60	59 58	63 59	改訂 86 85	改訂 85

【重点】 児童生徒質問紙調査については、令和5年度まで小学校を中心に年々課題が顕在化していましたが、令和6年度は改善傾向に転じました。令和7年度は令和6年度の改善傾向が維持されているのか注視していましたが、中2で令和6年度に比べて望ましい回答傾向が減少したものの、ここに掲げる12の指標項目に限れば、小学校は11項目（92%）、中学校は7項目（58%）で肯定的回答が県を上回り、力を入れてきた小学校を中心に「花巻市学力向上アクションプラン」の取組の効果が表れています。「学級・学年経営の充実」に関わっては、令和6年度は小5・中2ともに県を下回り課題だった「学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか」の肯定的回答は、小5・中2ともに県を上回り改善されました。心理的安全性の高い教室の雰囲気は、望ましい方向です。「学習者主体の授業改善」に関わっては、小5・中2ともに県との比較では望ましい傾向ですが、中2「授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか」は唯一県を下回り課題です。「協働的な学び」を活性化する手立てが必要です。「家庭学習の抜本的改善」に関わっては、中2「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか」は県を大きく下回り課題です。効果的な家庭学習の進め方やメディアとの関わり方を含めた家庭学習時間の確保など、改めて家庭と連携して対策を講じる必要があります。

## 令和7年度から令和8年度に向けた学力向上に係る方向性と具体策

これからの取組について、「令和7年度花巻市学力向上アクションプラン」の「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」「児童生徒の実態に即した授業改善の推進」「児童生徒の家庭生活・家庭学習の充実」の三観点に沿って、「学級力」「授業力」「家庭力」向上のポイントをまとめます。

### 観点1 「児童生徒の校内生活・授業環境の充実」に係る内容

#### ●観点1に係る花巻市の実態●

令和7年度全国学力・学習状況調査に係る国の公表の仕方が変更され、全国の都道府県と政令指定都市の教科調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の結果が誰でも閲覧できるようになりました。

例えば、学校質問紙調査「授業中の私語が少なく、落ち着いている」の強い肯定的回答の割合は次のとおりです。

【小学校】	花巻市 12.5	岩手県 40.8	全 国 35.5	石川県 42.7	秋田県 41.7
【中学校】	花巻市 54.5	岩手県 49.0	全 国 47.3	石川県 60.5	秋田県 50.0

また、学校質問紙調査「言語活動に、国語科を要とし、各教科等の特質に応じ、学校全体として取り組んでいる」の強い肯定的回答の割合は次のとおりです。

【小学校】	花巻市 6.3	岩手県 43.5	全 国 44.8	石川県 56.3	秋田県 41.7
【中学校】	花巻市 27.3	岩手県 35.2	全 国 39.4	石川県 61.6	秋田県 31.7

高学力の石川県や秋田県に比べて、花巻市の小学校の課題が浮き彫りになります。確かに学校訪問等をしていても、特に**小学校低学年の段階で落ち着いた学級づくりに苦労している学校が散見**されます。

#### ●特に小学校で重視したい視点●

生徒指導に苦労している学年・学級では、児童の安全安心を確保する生活学習環境づくりを重点に、**人間関係能力の育成に力を入れた集団づくり**を行い、教室を公的空間と位置付けて居心地よくすることにより**学力向上や不適応対策に効果**が出てくるものと考えます。

#### ●学級づくりで力を入れてほしい具体的取組●

児童生徒質問紙調査によると、一般的に学習等で成果を上げている児童生徒は、非認知スキルが高い傾向にあります。児童生徒が学習等で成果を上げるためには、非認知スキルを育む必要があるということです。そこでまずは、**かつては就学前に身に付けて入学してきたと考えられるこの力が、今は小学校で意識して育てなければならない場合がある**と受け止めなければなりません。そして、課題のある学年・学級集団は一様にこの点に弱点があることから、「学級力」向上の取組の具体策としては、**教室が多くの人が生活・学習する場つまり公の場であることを教え、皆が生活・学習する場を居心地よくするためには、皆が守らなければならないルールがあることを指導**します。その一番大切なルールは、①**授業では基本的に立っている人が発言を許されていること**、②**それ以外の人は手を休め発言者を見て、その人の話に耳を傾けなければならないこと**、③**さらにこの間、発言者以外はおしゃべりをしていけないことを徹底**することです。このルールづくりは学級開き直後から繰り返し取り組むことで定着します。公の場でのお話の仕方など、他にも大切なことはたくさんありますが、これらについては必要に応じて徐々に指導することにします。

### 観点2 「児童生徒の実態に即した授業改善の推進」に係る内容

#### ●観点2に係る花巻市の実態●

例えば、学校質問紙調査「児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、話し合い、まとめ、表現する学習活動をしている」の強い肯定的回答の割合は次のとおりです。

【小学校】	花巻市 18.8	岩手県 31.2	全 国 31.5	石川県 39.1	秋田県 24.4
【中学校】	花巻市 18.2	岩手県 19.3	全 国 27.5	石川県 36.0	秋田県 28.8

また、学校質問紙調査「算数・数学の授業で、学習上つまづいた児童生徒に対する対応を行っている」の強い肯定的回答の割合は次のとおりです。

【小学校】	花巻市 25.0	岩手県 48.1	全 国 49.1	石川県 57.3	秋田県 45.2
【中学校】	花巻市 0	岩手県 33.1	全 国 43.8	石川県 54.7	秋田県 37.5

高学力の他県に比べて、花巻市の小・中学校の課題が浮き彫りになります。今求められている**「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」にまだまだ改善の余地**があります。

## ●小・中学校ともに重視したい視点●

個別最適な学びと協働的な学びによる主体的・対話的で深い学びは、多様化複雑化する児童生徒一人一人の資質「知識技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性」を育み、結果的に**できた、分かったで終われる授業の実現が児童生徒の学ぶ意欲につながる**と考えられます。

## ●授業改善で力を入れてほしい具体的取組●

授業開始のあいさつ、前時までの想起、学習用具、板書、学習課題、学習方法、発問、教師の姿勢、一人学び、学び合い、発言・発表、家庭学習、次時の予告等、授業を充実するために以前から大切にされてきた「不易」の視点、主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び、協働的な学び等、授業を充実するために表現を変えて位置付けられた「流行」の視点等、大切なことが数多くありますが、一番意識したいことは「**分かった・できたで終わる1時間1時間の授業**」→一人一人が伸びていることを実感できる学習活動（単元テスト結果等の伸長）→授業時間以外でも一層の学習意欲の向上→**子どもの成長に係る保護者の信頼**」のサイクルを確立することです。そこで、**学力上位層から下位層まで幅広くならかな分布であったり、上位層のくぼみと下位層の膨らみが進行した二極化傾向の分布であったり、近年の花巻市の児童生徒の学力実態を考慮**し、「授業力」向上の取組の具体策としては、国の動向を踏まえて作成した**一単位時間に組み込める「指導と評価を一体化した習熟に応じた個別最適な学び」により学習者主体の学習指導過程をさらに広めること**を重視することです。学校ぐるみの取組により効果を上げている学校が複数確認されているので、エビデンスのある取組と考えています。

## 観点3「児童生徒の家庭生活・家庭学習の充実」に係る内容

### ●観点3に係る花巻市の実態●

例えば、学校質問紙調査「児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えている」の強い肯定的回答の割合は次のとおりです。

【小学校】 花巻市 56.3 岩手県 61.9 全 国 49.3 石川県 63.5 秋田県 72.0

【中学校】 花巻市 9.1 岩手県 36.6 全 国 34.5 石川県 59.3 秋田県 53.0

また、学校質問紙調査「児童生徒が家庭学習の課題について、教員の指導改善や学習改善に生かしている」の強い肯定的回答の割合は次のとおりです。

【小学校】 花巻市 37.5 岩手県 38.8 全 国 31.0 石川県 39.6 秋田県 43.5

【中学校】 花巻市 9.1 岩手県 19.3 全 国 21.8 石川県 37.2 秋田県 31.7

高学力の他県に比べて、花巻市の中学校の課題が浮き彫りになります。花巻市の中学校は、**家庭学習の仕方や授業とのリンク等について課題解決の糸口**がありそうです。

## ●特に中学校で重視したい視点●

学習内容が増えて難しくなる中学校では、生徒の学習内容の定着や活用の力を育む上で、家庭等で行う自主的学習が不可欠であることから、**できた、分かったで終われる授業から生じる学ぶ意欲を一人で家庭学習に立ち向かうエネルギーにする手立てが必要**と考えられます。

## ●家庭学習で力を入れてほしい具体的取組●

家庭学習時間が長ければ、それだけ学力向上に効果が出ているかと言えば、必ずしもそうではありません。おそらく効果につながる学習方法になっていることが重要なのだと思います。**児童生徒講話等に際して児童生徒に勉強の仕方を尋ねると、家庭学習では問題などを解いていて分からないときは問題集の答を見てノートに「写す」学習をしていると応える児童生徒が相当数**います。授業でも「考える」ことなく、**板書をノートに「写す」学習**をしている児童生徒も多くいます。脳を使うことなく、「写す」作業に止まっているために学習成果に結び付いていないことを危惧します。そこで、児童生徒講話に際しては、効果が出る学習方法や授業の受け方の話をさせていただきます。具体的には、**分からない問題や内容については、まずは解説を読んだり教科書で調べたりしてなぜそうなるのか理解して脳にインプットし、その後解説や教科書で理解したことを脳からノートにアウトプットしてみる学習方法（「アクティブリコール」という学習方法）を、授業でノートをとるときは「写す」のではなく「考えながら自分自身のノートを作る**ことをすすめます。この学習方法は、これまでの児童講話の手応えから小学校高学年であれば十分に理解し実践できる取組と考えています。また、家庭学習の充実につきましては、「家庭力」向上の取組として、ご家庭のご理解ご協力をいただきながら進めて参ります。